



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 大日本塗料株式会社
 コード番号 4611 URL <http://www.dnt.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 岩浅 壽二郎
 (氏名) 瀬古 宜範

TEL 06-6466-6661

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	16,801	△1.4	513	△1.7	575	13.8	156	△36.6
25年3月期第1四半期	17,043	6.1	522	127.1	505	218.6	246	643.6

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 664百万円 (296.9%) 25年3月期第1四半期 223百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	1.05	—
25年3月期第1四半期	1.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	66,566	19,563	28.0	125.37
25年3月期	67,288	19,247	27.3	123.82

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 18,615百万円 25年3月期 18,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,500	△2.2	1,500	5.5	1,200	△4.8	800	1.3	5.39
通期	71,500	1.0	3,500	25.9	3,000	17.9	2,000	67.7	13.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	148,553,393 株	25年3月期	148,553,393 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	62,923 株	25年3月期	61,567 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	148,491,077 株	25年3月期1Q	148,491,268 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策効果の発現や輸出の回復により、持ち直し傾向にあります。依然として海外景気に下振れリスクはあるものの、塗料業界に大きな影響のある国内の公共投資や住宅着工件数などの指標は堅調に推移しております。

このような状況のもと当社グループは、新中期経営計画の最終年度を迎え、これまでの組織改革および構造改革の効果を業績に反映できるよう、諸施策を遂行してまいりました。国内塗料事業におきましては、建材塗料分野が消費増税前の駆け込み需要や復興需要により堅調に推移しているものの、国内製造業の操業度低迷の影響もあり、収益は弱含みで推移いたしました。また、照明機器事業におきましては、構造改革の途上ではありますが、好調な高額消費を背景にした大型店舗の設備投資が増加傾向にあり、利益水準は回復基調にあります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は168億1百万円（前年同四半期比 1.4%減）、利益面につきましては、営業利益は5億1千3百万円（同 9百万円減）、経常利益は5億7千5百万円（同 6千9百万円増）、四半期純利益は1億5千6百万円（同 9千万円減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[国内塗料事業]

国内塗料事業は、建材塗料分野の持ち直しや構造改革等による経費の減少があったものの、国内製造業の操業度低迷等による販売量減少の影響を受け、収益は弱含みで推移いたしました。

この結果、国内塗料事業全体の売上高は122億1千7百万円（前年同四半期比 3.8%減）、セグメント利益は2億4千4百万円（同 6千3百万円減）となりました。

[海外塗料事業]

海外塗料事業は、東南アジアでは旺盛な自動車需要に支えられるなど堅調に推移いたしましたが、中国では日系メーカーが減産傾向にあり伸び悩みました。

この結果、海外塗料事業全体の売上高は16億3千1百万円（前年同四半期比 14.6%増）、セグメント利益は8千7百万円（同 4百万円減）となりました。

[照明機器事業]

照明機器事業は、業界の競争も激化しておりますが、主力の百貨店需要が復調基調であり、また子会社間合併や経費削減策による販管費減少効果もあり、前年並で推移いたしました。

この結果、照明機器事業全体の売上高は21億8百万円（前年同四半期比 1.2%減）、セグメント利益は7千8百万円（同 3百万円減）となりました。

[蛍光色材事業]

蛍光色材事業は、値下げ傾向などの逆風はあったものの、海外市場、国内市場ともに主力製品の需要が好調に推移いたしました。

この結果、蛍光色材事業全体の売上高は4億9百万円（前年同四半期比 11.4%増）、セグメント利益は8千2百万円（同 3千1百万円増）となりました。

[その他事業]

その他事業全体の売上高は4億3千4百万円（前年同四半期比 4.8%増）、セグメント利益は1千3百万円（同 8百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、665億6千6百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億2千2百万円の減少となりました。流動資産は332億2千5百万円で前連結会計年度末と比較して6億5千3百万円の減少となりましたが、これは現金及び預金の増加5億3千9百万円、受取手形及び売掛金の減少9億9千4百万円、たな卸資産の減少6千7百万円、繰延税金資産の減少9千9百万円、その他の減少3千7百万円等が主因であります。固定資産は333億4千万円で前連結会計年度末と比較して6千9百万円の減少となりましたが、これは有形固定資産の減少2千万円、無形固定資産の減少6千5百万円、投資その他の資産の増加1千6百万円等が主因であります。

負債は470億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億3千9百万円の減少となりました。流動負債は331億3百万円で前連結会計年度末と比較して8億4千万円の減少となりましたが、これは支払手形及び買掛金の減少9億3千6百万円、短期借入金の増加5億7千7百万円、短期リース債務の減少1億1百万円、未払法人税等の減少2億2千5百万円、その他流動負債の減少1億2千6百万円等が主因であります。固定負債は138億9千8百万円で前連結会計年度末と比較して1億9千9百万円の減少となりましたが、これは長期リース債務の減少8千5百万円、退職給付引当金の減少1億3千2百万円、役員退職慰労引当金の減少3千5百万円、環境対策引当金の増加5千6百万円等が主因であります。

純資産は195億6千3百万円で前連結会計年度末と比較して3億1千6百万円の増加となりました。これは利益剰余金の減少1億4千万円、その他有価証券評価差額金の増加1億7千2百万円、為替換算調整勘定の増加1億9千8百万円、少数株主持分の増加8千7百万円等が主因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、前回発表（平成25年5月10日）の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結累計期間において、当社の連結子会社でありますニッポ電機(株)は、同じく当社の連結子会社でありますダイア蛍光(株)及びDNライティング(株)を吸収合併しました。また存続会社のニッポ電機(株)は商号をDNライティング(株)に変更しました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,232	2,772
受取手形及び売掛金	18,697	17,703
商品及び製品	6,408	6,383
仕掛品	1,210	1,287
原材料及び貯蔵品	3,249	3,129
繰延税金資産	816	716
その他	1,375	1,338
貸倒引当金	△111	△106
流動資産合計	33,879	33,225
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,050	19,457
減価償却累計額	△12,605	△12,771
建物及び構築物（純額）	6,444	6,686
機械装置及び運搬具	22,480	22,692
減価償却累計額	△19,187	△19,486
機械装置及び運搬具（純額）	3,293	3,205
土地	11,896	11,910
リース資産	872	867
減価償却累計額	△459	△493
リース資産（純額）	413	373
建設仮勘定	358	182
その他	5,575	5,505
減価償却累計額	△4,850	△4,752
その他（純額）	724	753
有形固定資産合計	23,132	23,111
無形固定資産		
のれん	67	54
リース資産	302	230
その他	368	387
無形固定資産合計	738	672
投資その他の資産		
投資有価証券	5,069	5,336
繰延税金資産	3,023	2,799
その他	1,530	1,500
貸倒引当金	△84	△80
投資その他の資産合計	9,539	9,556
固定資産合計	33,409	33,340
資産合計	67,288	66,566

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,912	16,975
短期借入金	10,034	10,612
リース債務	751	650
未払法人税等	373	147
製品補償引当金	69	41
その他	4,802	4,675
流動負債合計	33,943	33,103
固定負債		
長期借入金	9,113	9,106
リース債務	648	563
繰延税金負債	145	132
再評価に係る繰延税金負債	1,514	1,514
退職給付引当金	2,480	2,347
役員退職慰労引当金	35	—
環境対策引当金	39	95
その他	119	138
固定負債合計	14,098	13,898
負債合計	48,041	47,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,443	2,443
利益剰余金	4,773	4,632
自己株式	△8	△9
株主資本合計	16,034	15,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	991	1,164
土地再評価差額金	1,671	1,671
為替換算調整勘定	△312	△113
その他の包括利益累計額合計	2,351	2,721
少数株主持分	861	948
純資産合計	19,247	19,563
負債純資産合計	67,288	66,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	17,043	16,801
売上原価	12,223	12,239
売上総利益	4,819	4,561
販売費及び一般管理費	4,297	4,048
営業利益	522	513
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	50	54
為替差益	16	50
その他	74	119
営業外収益合計	142	224
営業外費用		
支払利息	114	96
その他	44	66
営業外費用合計	159	162
経常利益	505	575
特別損失		
環境対策引当金繰入額	—	56
事業構造改善費用	34	—
その他	10	25
特別損失合計	44	81
税金等調整前四半期純利益	461	494
法人税、住民税及び事業税	87	70
法人税等調整額	94	221
法人税等合計	181	292
少数株主損益調整前四半期純利益	279	202
少数株主利益	33	45
四半期純利益	246	156

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	279	202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△229	170
為替換算調整勘定	170	288
持分法適用会社に対する持分相当額	2	4
その他の包括利益合計	△55	462
四半期包括利益	223	664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146	526
少数株主に係る四半期包括利益	77	137

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	12,702	1,423	2,134	367	16,628	415	17,043	—	17,043
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	296	4	—	30	331	681	1,012	△1,012	—
計	12,998	1,427	2,134	398	16,959	1,096	18,056	△1,012	17,043
セグメント利益	307	92	82	50	533	4	537	△15	522

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業、不動産管理事業、経理業務サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△15百万円には、セグメント間取引消去6百万円、のれんの償却額△21百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	12,217	1,631	2,108	409	16,366	434	16,801	—	16,801
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	207	2	0	12	223	631	854	△854	—
計	12,425	1,633	2,108	422	16,589	1,066	17,655	△854	16,801
セグメント利益	244	87	78	82	492	13	506	7	513

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業、不動産管理事業、経理業務サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 7 百万円には、セグメント間取引消去 20 百万円、のれんの償却額 △13 百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第 1 四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(企業結合等関係)

当社の連結子会社でありますニッポ電機(株)は、平成25年 1 月11日付の合併契約に基づき、平成25年 4 月 1 日に、同じく連結子会社でありますダイア蛍光(株)及びDNライティング(株)を吸収合併しました。また、同社は、平成25年 1 月11日に開催の取締役会の決議に基づき、平成25年 4 月 1 日付で商号をDNライティング(株)に変更しました。

1. 合併の概要

①当事企業の名称、資本金及び事業の内容等

(吸収合併存続会社)

名称：ニッポ電機(株)、資本金：527百万円、事業の内容：照明機器製造

(吸収合併消滅会社)

名称：ダイア蛍光(株)、資本金：90百万円、事業の内容：照明機器製造

名称：DNライティング(株)、資本金：200百万円、事業の内容：照明機器販売

資本金の扱いについては存続会社であるニッポ電機(株)の合併前と同額のまま、事業の内容は照明機器製造販売となります。

②効力発生日（合併日）

平成25年 4 月 1 日

③条件、手続等

各社で合併承認株主総会を開催し、その全ての株主総会の承認を得て合併しました。

当社がニッポ電機(株)及びダイア蛍光(株)の全株式を所有、ニッポ電機(株)及びダイア蛍光(株)は両社でDNライティング(株)の全株式を所有しており、合併に伴い株式の割当及び金銭その他財産の交付は行わず、無対価による、ニッポ電機(株)を存続会社とし、他を消滅会社とする吸収合併方式にて合併を行いました。

④割当の内容及びその算定根拠

該当事項はありません。

⑤目的

照明機器市場の競争が激化する中、新商品の応用・開発、生産・販売体制の強化、及び新たな販路拡大等を図り、3社を統合することによって、照明機器事業に係る意思決定を迅速に行える環境を整えるとともに、強固な経営基盤の構築と経営資源の集中と組織の効率化を進めるためであります。

⑥引継資産・負債の状況

合併効力発生日において、合併当事会社相互間の債権・債務は全て消滅し、その他一切の資産、負債及び権利義務は全て存続会社に引継がれました。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として処理を行いました。